

心のまんなかで アートをあじわってみる

会期：2024年 9月 14日 [土]－2025年 1月 13日 [月・祝]

主催・会場：原美術館ARC

現代美術ギャラリー | 作品リスト



マークの作品のみ写真撮影が可能です。

ギャラリー内での飲食および、作品に触れることはできません。小さいお子様は大人の方と手をつないでご鑑賞下さい。

Gallery A：遠く離れてみる				
作家名	作品名	制作年	素材・技法	サイズ
増田 佳江	遠い歌 近い声	2012	カンヴァスに油彩	194 x 259 cm
加藤 泉	無題	2006	カンヴァスに油彩	227 x 181.8 cm
横尾 忠則	誰か故郷を想わざる	2001	カンヴァスにアクリル絵具	227.5 x 182 cm
辰野 登恵子	無題 97-4	1997	カンヴァスに油彩	218 x 291 cm
吉田 克朗	触“体-27”	1989	麻布に黒鉛、木炭、アクリル絵具、 油絵具、顔料	194 x 259 cm
今井 俊満	水	1977	カンヴァスに油彩	134 x 197.5 cm
菅井 汲	しずか	1959	カンヴァスに油彩	101.6 x 82.3 cm
マックス ストリッシャー	Sleeping Giants (Silenus)	2002	ミクストメディア	約 800 x 500 cm

Gallery B：目を閉じてみる				
作家名	作品名	制作年	素材・技法	サイズ
リチャード セラ	ヴァイディ アファンガー #1	1991	エッチング	11.3 x 15 cm
リチャード セラ	ヴァイディ アファンガー #2	1991	エッチング	11.3 x 15.2 cm
リチャード セラ	ヴァイディ アファンガー #3	1991	エッチング	11.3 x 15.2 cm
リチャード セラ	ヴァイディ アファンガー #4	1991	エッチング	11.2 x 15.2 cm
リチャード セラ	ヴァイディ アファンガー #5	1991	エッチング	11.5 x 15.2 cm
リチャード セラ	ヴァイディ アファンガー #6	1991	エッチング	11.3 x 14.9 cm
リチャード セラ	ヴァイディ アファンガー #7	1991	エッチング	11 x 14.7 cm
リチャード セラ	ヴァイディ アファンガー #8	1991	エッチング	15.7 x 20.6 cm
リチャード セラ	ヴァイディ アファンガー #9	1991	エッチング	15.3 x 11.3 cm
リチャード セラ	ヴァイディ アファンガー #10	1991	エッチング	11.5 x 15.2 cm
リチャード セラ	バランス	1972	リトグラフ	89.3 x 112 cm
田幡 浩一	960 fly	2003	アニメーション	ループ
宮島 達男	時の連鎖	1989/1994/ 2021	発光ダイオード、IC、電線	22 x 475 x 4.7 cm 22 x 237.5 x 4.7 cm
土屋 公雄	Drawing No.1	1988	紙にコンテ、オイル	156.4 x 126.5 cm (フレーム)
黎 志文	無題 I	1988	紙に水墨	114 x 83.5 cm
黎 志文	無題 III	1988	紙に水墨	114 x 83.5 cm
マイケル ケニー	禁じられた果実 VIII	1985	紙に鉛筆、木炭、パステル	76.5 x 115 cm
名和 晃平	PixCell-Bambi #2	2006	ミクストメディア	31.5 x 51 x 20 cm

	米田 知子	ヘッセの眼鏡－兵士の写真を見る	1998	ゼラチンシルバープリント	120 x 120 cm
	米田 知子	トロツキーの眼鏡－未遂に終わった暗殺計画の際に燃やされた辞書を見る	2003	ゼラチンシルバープリント	120 x 120 cm
	米田 知子	マハトマ・ガンジーの眼鏡－『沈黙の日』の最後のノートを見る	2003	ゼラチンシルバープリント	120 x 120 cm
	ジャスパー ジョーンズ	批評家は笑う	1969	鉛レリーフ、金、錫	59 x 43.5 cm
	束 芋	真夜中の海	2006/2008	ビデオインスタレーション	ループ（4分）
	奈良 美智	My Drawing Room	2004/2021	ミクストメディア	312 x 200.5 x 448 cm
	ジャスパー ジョーンズ	四季（春 夏 秋 冬）	1987	アクアチント	79 x 61 cm （フレーム、4点組）
	マックス ノイマン	無題	1989	カンヴァスにテンペラ	198 x 100 cm

Gallery C：味わってみる

作家名	作品名	制作年	素材・技法	サイズ
アンディ ウォーホル	牛	1973	シルクスクリーン	116 x 76.7 cm
トム ウェッセルマン	ペチュニアとゆりと果実のある静物	1988	シルクスクリーン	121.6 x 158 cm
ジェームス ローゼンクイスト	もれる	1980	リトグラフ	101 x 129 cm
クレス オルデンバーク	Alphabet in the Form of a Good Humor Bar	1970	オフセットリトグラフ	73.7 x 50.9 cm
ロバート インディアナ	Love	1982	シルクスクリーン	60.9 x 60.9 cm
デイヴィッド ホックニー	スロウ フォレスト	1993	リトグラフ、シルクスクリーン	63.5 x 83.8 cm
デイヴィッド ホックニー	ゴーイング アウト	1993	リトグラフ、シルクスクリーン	61.6 x 68.6 cm
デイヴィッド ホックニー	部屋の中のインク	1993	リトグラフ、シルクスクリーン	64.8 x 90.2 cm
デイヴィッド ホックニー	フォー パート スプリンジ	1993	リトグラフ、シルクスクリーン	124.5 x 167.6 cm
デイヴィッド ホックニー	ウォーム スタート	1993	リトグラフ、シルクスクリーン	54.6 x 64.8 cm
デイヴィッド ホックニー	ブルー ハング クリフ	1993	リトグラフ、シルクスクリーン	58.4 x 76.2 cm
 森 弘治	After a painting	2004	シングルチャンネルビデオ	ループ
アーロン フィンク	オレンジ	1992	カンヴァスに油彩	126.8 x 92 cm
アーロン フィンク	双つのトマト	1991	カンヴァスに油彩	76.2 x 182.9 cm
草間 彌生	自己消滅	1980	ミクストメディア	サイズ可変
草間 彌生	ミラールーム（かぼちゃ）	1991/1992	ミクストメディア	200 x 200 x 200 cm
ロイ リキテンシュタイン	ティーセット	1984	マルチプル陶芸作品	
ロイ リキテンシュタイン	静物	1972	カンヴァスに油彩	105 x 120 cm
ロイ リキテンシュタイン	フレーム IV	1968	カンヴァスに油彩	140 x 170 cm
 福田 美蘭	静物	1992	カンヴァスにアクリル絵具、糸、紙、ビニール	90 x 110 cm
 福田 美蘭	静物	1992	カラープリント	72 x 92 cm

展示室外

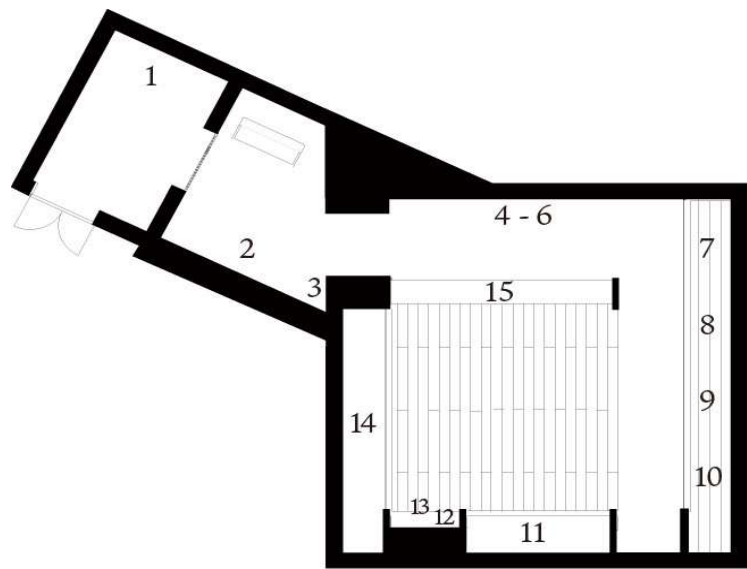
作家名		作品名	制作年	素材・技法	サイズ
	三島 喜美代	Newspaper-84-E	1984	セラミック、シルクスクリーン	105 x 74 x 102 cm
	ソル ルウィット	不完全な立方体	1971	アルミニウムにペイント	120 x 120 x 120 cm

心のまんなかで アートをあじわってみる

会期：2024年 9月 14日 [土]－2025年 1月 13日 [月・祝]

主催・会場：原美術館ARC

特別展示室 観海庵 | 後期 (11/15から) 作品リスト



📷 マークの作品のみ写真撮影が可能です。
ギャラリー内での飲食および、作品に触れることはできません。小さいお子様は大人の方と手をつないで鑑賞下さい。

特別展示室 観海庵：向き合ってみる				
作家名	作品名	制作年	素材・技法	サイズ
1 📷 イサム ノグチ	レディミラー	1983	亜鉛メッキ銅	149.2 x 43.2 x 43.2 cm
2 ジャスパー ジョーンズ	ウスユキ	1981	和紙にシルクスクリーン	69.6 x 115 cm
3 須田 悦弘	此レハ飲水二非ズ 「曼珠沙華」	2001/2021	木に彩色	25 x 25 x 51 cm
4 📷 佐伯 洋江	無題	2009	紙にシャープペンシル、鉛筆、色鉛筆、インク	79 x 79 cm
5 📷 佐伯 洋江	無題	2009	紙にシャープペンシル、鉛筆、色鉛筆、インク	79 x 79 cm
6 📷 佐伯 洋江	無題	2009	紙にシャープペンシル、鉛筆、色鉛筆、インク	79 x 79 cm
7 篠田 桃紅	Inishie	1986	リトグラフ、墨	207.5 x 116.5 cm
8 タキス	シグナル	1956	鉄	120 x 20 x 90 cm
9 📷 束 芋	糸口心中	2018	シングルチャンネル映像インスタレーション、掛け軸	131.5 x 148.7 cm
10 📷 杉本 博司	ATLANTIC OCEAN Cliffs of Moher, 1989	1989	ゼラチンシルバープリント	50.8 x 61 cm
11 📷 狩野安信	龍虎図	江戸時代 (17世紀)	絹本墨画	双幅
12 📷 内倉 ひとみ	月の雫	2017	銅に銀メッキ	39 x 13 x 13 cm
13 📷	浪に千鳥蒔絵提重	江戸時代 (19世紀)		一基
14 📷 狩野永徳	虎図(三井寺旧日光院客殿障屏画)	桃山時代 (16世紀)	紙本墨画	四幅
15 📷 円山応挙	淀川兩岸図巻 下図	江戸時代 宝暦十三年 (1763年)	紙本墨画	一巻

番号の記載はございませんが、須田悦弘の小さな作品を展示しています。

■作品解説

14.

狩野永徳「虎図」

四幅 桃山時代（16世紀）

もと襖絵であった四幅の虎図には、木々の枝がしなるほどの強風に毛を逆立て、上目づかいで身がかがめる虎の姿。その視線は松の枝で鳴く鳥に向けられているようだ。威嚇しているかのような虎と懸命に枝先を掴む鳥の姿を捉えた描写は、画面に緊迫感を生んでいる。

虎は異国の霊獣であり、富や地位、子孫繁栄の寓意とされ、吉祥的な意味をもって襖などに描かれることも多かった。猛々しい獣が建物の入り口を守り、穏やかに群れて遊ぶ空間は、その主（あるじ）の力を訪れる人々に知らしめたことだろう。襖絵の虎図は、図像としては大陸渡来の吉祥画を描くものとみなされるが、本作では虎の視線の先にはいるはずのカササギが明確に描かれていないため、本来の意味が失われつつある過程を示していると考えられる。

*「三井寺旧日光院客殿障壁画」は、もと滋賀県大津市の三井寺（園城寺）の日光院客殿を飾っていた障壁画である。原六郎が明治時代中期、財政難で障壁画の維持に困難があった三井寺から日光院客殿を建物ごと買い取ったもので、品川区の自宅庭園内に移築し、名を慶長館と改めて保存した。桃山時代建立とされる建物は、昭和初期に文京区の護国寺へ寄進・再移築され、護国寺月光殿として今日に至る。

現在は保存の観点から建物とは別にし、47幅の掛軸と6曲1双の屏風に仕立て直されている。この作品群が散逸せず、まとまった状態を保って伝えられたことには大きな意義があり、狩野永徳をはじめ、近世初期の狩野派による重要な作例として注目されるものである。

15.

円山応挙「淀川兩岸図巻 下図」

一巻 江戸時代 宝暦十三年（1763年）

円山応挙(1733-95年)が明和2年(1765年)に描いた「淀川兩岸図 巻」(絹本著色、原六郎コレクション、以下《本図》と呼ぶ)の下図。群青を使った水面の微細な表現、精緻な風景描写が印象深い、長大な《本図》を描くために準備されたものである。各地点の地名が書かれていることから、《本図》を鑑賞する際の資料とも言える。

琵琶湖を源流として大阪湾に流れ込む淀川の流れを中央に、沿岸を舟から見る視線で俯瞰的に描いたと考えられる構図が特徴的である。水流や人物などの描写は簡略化されているが、川の流れ、水の色、両岸で生活する人々の様子を想像しながら、絵から聞こえてくるさまざまな音に耳を傾けてみ

応挙は大画面に描いた山や川・動物などが、鑑賞者の現実の空間と一体になるような「写生」のスタイルを創り出した絵師である。30代前半に描かれた本作は、その第一歩となる作品と位置づけられている。